

ばんが

新しい活動を期待して

—ごあいさつ—



育友会長 山本 薫五郎

月日の経つのは早いもので、ついこの間新年度を迎えたとおぼかり思っていましたら、もうお別れのごあいさつがやって来しました。

昨年度、これまで私たちの育友会活動を進めて来られた多くのベテラン会員が卒業され、今年度は新しい会員や役員が入れ替って事業をやってく下さいました。

各専門部の活動についてはそれぞれにご報告があると思いますが、新しい役員、部員の皆さんによって、たいへん熱心に仕事が行われ大きな成果があげられました。

特に、新設の保健体育部は子どもたちの球技大会や水泳大会、さらに、会員のバレーボール大会など、めざましい活躍ぶりでした。

各町内や学級の育友会も、子どもたちの学習の向上に、また交通安全や生活指導などに大きな役割を果たしてこられました。

仕事を分担された方がたやお世話なされた役員さん方には、ほんとうにご苦労さまでした。

学校内外の出来事としては数年来の懸案となっていましたた体育館の建設問題で、先ず敷地について、県、市議会議員さん、振興局、市役所関係、地元民主団体の方がたなど、

報行部 印刷所
育友会 かわ印刷
小育報 印
三発 広
島三 印

〔第40号〕

大勢の方の協力によって、ほとんど「決定」というところまで進むことができました。これからは、さらに以上の方がたのお力添えのもとに、一日も早く「建設」ができるよう一そこの努力をいたしたいと思ひます。

次に、昨年度から実現しました、育友会の学校後援費を公費で負担してもらうことは、今年度から完全に行われるようになりましたが、それが一そう充実するよう、これからも要望をつづけなければならぬと思ひます。

また、今年度は給特法の取扱いをめぐって、運動会の問題などで、先生方と学校、育友会の間にいるいとトラブルの起きたところがありました。幸い本校では問題なく行われましたが、今後とも良識をもって、子どもたちの健全な育成が行われるように願っております。

になっていました、会則の改正問題も、ようやく具体化が進み、数回にわたる検討会で原案も煮つまってきましたので、近く代議員会におはかりして、新年度の総会にご提案いたしたいと思ひます。内容的には、現在すでに実行しているような育友会活動の方向を、それにふさわしく、新しい表現で整理しようという事です。皆さんの活発なご意見によって、より一そこのよい会則にして、さらに、それを基にしてよりよい育友会活動が行われることを期待しております。



教育雑感



学校長 村田正二

最近、教育に対する世間一般の関心が高まって、たいいていの人々が、教育についてひとかどの意見をもつようになってきました。

よく、教育ママということばが使われています。「うちの子には、これこれ、しかしかの教育をしています」「うちでは、子どもの能力を伸ばすためにいろいろなことばをならわしています。」

「学校教育もだいいじだが、家庭教育や社会教育にもっと力を入れなければ。」など、さまざまな意見がきかれます。たしかに、教育を受ける機会は多くなってきました。極端にいえば、教育過剰の世の中になっていくようです。だからといって、現在の教育に満足しているかというところ、どうもそうでないようです。

私自身、教育を担当する身でありながら、満足できないところが多いのあります。永年の教育をふりかえりながら、いろいろと思ひ悩むわけです。

現代は、価値観多様化の時

代です。一例として、子どもの「集団登校」という問題をとりあげてみましょう。集まる時間のこと、途中の通り方、或いは根本問題として、集団登校が必要かどうかなど、一人一人ちがった考え方をもっていられると思います。しかし、ばらばらでは教育の効果があがりません。せめて基本的なことは、親も教師も一つ心にならなければなりません。

幸いなことに、三小は、学校も、育友会も一つになり協力しあって教育を進めていくという気が持っています。子どもも、親も、教師も、学校に行くことが楽しいし、また、学校を楽しいところにしてやうとする努力もはらわれていきます。そこで、更によりよい教育を進めるため、次のような点に力を入れてやってみたいものです。

一、たいせつにする心を育てましょう
最近物質不足の世の中になつて、たいせつにするということを改めて考えさせられるようになつた人も多いでしょう。まず、物やお金をたいせつにすることからはじめたいものです。物をそまつにするくせがついてしまつた子ども

の将来がどうなるか考えてみられたことがありますか。次に一歩ずつ、勤くことをたいせつにするとか、きまりをたいせつにするとか、いろいろ考えてみてください。忘れてならぬのは、子どもに自分のからだや自分の心をたいせつにする心をもたせることです。

二、責任を重んずる心を育てましょう
私たちは、子どもをあまやかして過ぎていっているのではないのでしょうか。自分でかしたことのあと始末は、自分でつけるものだとしつけをしましょう。いまの子どもは、自分が悪いことをしてかして、すなおに自分が悪かったと言いません。友達が悪うと言つたからしたので、悪いのは友達です。自分が責任をとらうとしないで他人に責任をなすりつけようという考え方をしています。友達が悪いとか環境が悪いとか、すべて悪いのは自分でなくてほかにあるのだという考え方はやめさせましょう。

三、うそやごまかしのない生活をさせましょう
子どもは、勉強しなかつたのに勉強したふりをしてみたり、わからないのにわかつたふりをすることがあります。

しかし、いつかはかならずばけのかわがはげて、あとで苦しんだり、味気ない気持ちになつたりするものです。最近是谁もがしなけれならぬあたりまえのことがなかなか実行されていません。子どもが悪いことをしていたら、その場ですぐに指導しなければいけません。ひとつ見のがしたら、次にはもっと大きな悪いことをします。しかし、実際はこのくらいはと見のがしているのではないのでしょうか。子どもを可愛がって育てましょう

可愛がるということとは、あまやかすこととはちがいます。たとえば、子どもが苦勞しているとき、かわいそうだと、手だすけをしてやったり、逃げ道をつくつてやることは、真の愛情ではありません。子どもを人間として大切にすることが親としての可愛がりかたではないのでしょうか。

以上四つのことを思つたまま書きましたが、皆さんすでに十分おわかりのことばかりだと思ひます。また、何の變つてもないあたりまえのことです。しかしいまの時代は、このあたりまえのことをあたりまえにやっていくことが大切なのではないのでしょうか。

小学校の
想 出

六の三 山本伸子

今から、ちょうど六年前の桜の花の咲きほころ四月一日、初めて見る三小の校門をくぐつたのでした。まるで、フルスピードで過ぎ去つたようなこの六年間。

卒業生感想文

卒業を目前にして今までに自分自身で経験し、それによつて得た知識はよい思い出となつて、卒業してから、いつまでも心に残ることでしょう。

六年間の小学校生活で、一番の思い出となつたのは低学年の時から、今か今かと楽しみにしていた修学旅行でした。

熊本の旅館に着くと、私や友達、うれしくてしようがないような顔……。いや、私にとつては、ただ旅行に来たことだけでなく、初めて

くしていたのかもしれない。天草五橋、阿蘇、熊本城、水前寺公園、新熊本空港など、数々の名所を見学したり、旅館でのレクリエーションやグループごとに分かれて泊まるとき、まくら投げなどしてはしゃいだ。あの楽しいひとときは、大人になつても忘れられない。

朝六時に、はりきつて出発した秋の遠足、普賢登山。あのゆうゆうとそびえ立つ普賢岳の頂上、いや、長崎県一高い所に登つた時は、ことばでは表現できないような気分よさでした。

みんなで、おたがいに協力し合い、楽しかった運動会や遠足。

楽しいことや悲しいこと、先生に叱られて、胸にジーンときて反省したことなど、思い出はつきない。

さまざま人間関係の中で級友の行ないから、ほんとうの勇氣というものが、協力を教えられ、自分の行動のあり方をつくづくと考えさせられた事もありました。

三小は、今年で満百才。卒業するのは、なぜか、おしい気もするのですが、すぐそ

こに、中学校という新しい生活が、待ちかまえています。

私は、小学校で使用した学用品を見ては、三小のことを思い出し、三小卒業生としてはすかしくない中学生へ、一歩一歩、前進して行きたいと思えます。

※ ※ ※ ※ ※

卒業を前に

六の四 山本由夫

ぼくたち六年生は、あとわずかで、この第三小学校を卒業する。今までぼくたちは、数多くの先輩を送ってきた

しかし、今年自分達の番かと思うと、喜びと不安とが入り交じって、胸のおく底まで響いてくる。また、一生がいの何分の一かを過ごしてきた、小学校生活と別れるのがもったいない気もする。三小は、もうすぐ創立百周年という古い学校だ。校庭にも、回りの木々にも思い出が多く、なつかしい学校なのだ。

父母に連れられ、ちょこちょこ歩いた入学式。二年の時ガラスを割って叱られたこと初めて、みんなとバスに乗り

長崎見学に行ったこと。班のまとまりが悪いと叱られた四年生の時のこと。最高学年になって、運営委員に任せられた時の心細さ。級友達と、一泊二日だけどいっしょで、ほんとうに楽しかった修学旅行。ただ一心にタクトをふった最後の運動会での鼓笛隊パレード。もう一息、あと少しだともみんなで助け合い、やっとのことで登り、掃りの道ですべりころび、苦しかったが、おもしろかったふげん登山。

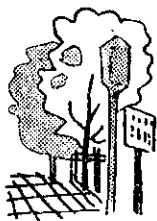
このように多くの思い出は長く心に印象づけられ、忘れられないだろう。ぼくたちが、この第三小学校に入学してから、あつという間に六年間たつてしまった。まだ小さくて可愛い時から、身体も知能も発達し、こんなにまで成長したのである。

しかし、こうして自分の小学校生活をふりかえる時、運営委員、学級委員、団長などの仕事、足りなかつたのではなにかと思う。ぼくが、運営委員になつてから、初めての試みである室内外、遊びコンクールを成功させたことは、よかつたと思うが、その反面この第三小学校の伝統が守り

きれなかつたような気がする。例えば、各町内の道路そうじも、出席率が悪かつたようだが、また、ろう下の通り方や名札をつけるなどの週訓も、去年よりよくなる所か、かえって悪化しているようだ。これらはある一人の人を中心としてまとまっていけないからだと思ふ。つまり、団長や学級委員の注意が足りなかつたのだらう。

このように、中途半ばな所で卒業するのは、どうも心惜しく残念だが、次の六年生がきつとぼくたち以上にがんばつて、今までの伝統を守つてくれるだろう。

ぼくたちは、このように多くの思い出を心の中に残し、別々の階段を上がつていく。そして十年後、二十年後、みんなが、どんなに成長しているか、再び会える日を楽しみにしている。



霊南町 吉田英子

先日、子供達の入学式のフィルムを見せていただきました。六年前の彼等の、何と小さく可愛らしかつたこと。

あそこに、〇〇ちゃんがいる。奥さんあなたですよ。などガヤガヤ云いながら、入学式をふり返って感慨無量でした。子供達も見たとかで、やはり我れながら驚いたり、照れたりしていた様です。

今、六年間の学び舎を巣立ってゆく子供達、良き先生や友を得て小学校で培われたものを糧として、これからの人生を歩いてゆくだろうと思えます。私自身、第三小学校には、忘れがたい思い出ばかり、不思議と勉強したことは憶えていないで遊んだり、創作劇をしたり、男の子に泣かされたりしたことを記憶しています。その同じ教室や運動場で、自分の子供達が、何を感じ何を学びと

卒業生父兄を代表して

ったか、その成長をじっと見守つてゆきたいと思えます。

——卒業を迎える娘に——

ほんとに大きくなりましたね

草原を駆ける仔馬よ

その柵を飛ぶのです

飛びこえて新しい世界を駆けるのです

果しなく広がる地平線を追いかけて

海辺に立って寄せる潮を受けなさい

朝日の中で仔馬よ

あなたはもう仔馬ではないのです

愛する者の生命を

育む力を与えられて

あなたは

光の中に

珊瑚の城を築くでしょう

三月の風は
あなたの目ざめた
日のように
今日も吹き
この喜びの日に
明日への讃歌を
奏でていきます

あなたの歴史は
私たち二人の歴史

母が私に寄せた思いを
私も
あなたにたくします

* * * * *

我が子の卒業

を前にして

坂上町 石本雅徳

長男が今年島原第三小学校を卒業する。毎日子供に接している、我が子の成長に気が付かないものだが、私が入学前、よく診ていた六年生の子供が先日風邪で診察に来た。お伴のお母さんと余り変らない立派な体だ。言葉もはきははきして、その成長ぶりに驚く。あらためて我が子の成長に目を向ける。我が子も患者さん

と同様立派に成長していた。まさに驚きである。よくもまあ立派になったものだと思しくなる。

それはともかくとして、小学校六年間、これと云う事故もなく、順調に成長してくれた事は何よりも嬉しい。

受験地獄の最近、大学、高校の受験はともかく、都会では、有名中学校に入れるため、小学校から猛勉強させる教育ママも多いとか。そういう子供を見るにつけ、聞くにつけ小学校ぐらいはのびのびと過ごさせたいとつくづく思う。

私が小学生時代、のんびり育つたため、そう思うのかも知れないが、この点、三小にいたおかげで、私の子供はよく遊んだ。毎日学校から帰ると、カバンをなげだし、日が暮れるまで学友と遊ぶ。勉強も少しはしたが、よく遊んだと云う一言につきる。大人になっても悔いる事はないであろう。

しかし、心配にならない事もない。新入生の頃にくらべ大分生意気になった。性格的にも種々問題は残っている。今後更に難しい中学時代を迎えるにあたり、いろいろ心配

も多い。

しかし、これら種々の問題を残しながらも、とにかく、私の子供は、すくすくと伸び卒業の段階までこぎつけた。

これも、ひとえに、校長先生はじめ諸先生方の熱心な教育、御指導、学友達の暖い友情、育友会の皆さん達の労をいとわない、愛情による指導と援助のためものと感謝申し上げる次第でございます。

又私自身も校医をしている関係上、子供の入学前から、三小とは間接的には関係があったのですが、我が子を入学させて更に身近かな関係となり、それまで以上に、先生方や育友会の皆様方に大変お世話になる様になりました。

それから六年間、育友会の一員として、いろいろ勉強させて頂きました。その間いろいろの事がございましたが、今振り返ってみますと、その一つが、懐かしい思い出でございます。一番の私の思い出は、子供が三年生、四年生の時、二年間を通じ、一回もかゝさず、学級育友会に出席させて頂いた事でありました。又或る時は育友会の代議員会や町内育友会で育友会に新風を

吹き込むため、敢えてヘリクツを述べ当事者を苦しめた事もありました。又広報部や、学級部の専門部の集りで、改革を急ぐあまり、独走し、会員の皆様にいやな思いをさせた事もありました。その他会員の皆様方には大変御迷惑をかけた事が、多々あると思っておりますが、その点この紙面をお借りして、お詫びさせて頂きます。

これらの事を一生の思い出とし、今後の生活に大いに役立たせたいと念願している次第でございます。

育友会の皆様、長い間本当に有難うございました。

猶、長男は卒業しましたが今度五年生になる次男がおります。長男が卒業しましたが尚二年間は皆様と共に頑張らなければなりません。今後共皆様方いろいろな御世話になる事と思いますが、よろしく、御指導、御鞭達の程お願い申し上げます。

一年生父兄代表

一年を

かえりみて

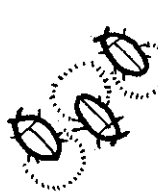
宮副亮典

つい、この間入学したばかりだと思っていた一年生の長男も、そろそろ終りに近づいてきた。沢山の漢字を覚え、本を読み、作文が書けるようになり、一年間の進歩に目を見はる思いがする。

入学当初は、教育ママ達の子供達に対する教育熱心のみならず、子供達を真の人間らしさに育てる上でのへい害を世の教育評論家達は強調し、私も、そのように思い、せめて低学年のうちには、のんびり過させようと思っていた。

しかし、私達の小学校時代に較べ、過密なカリキュラムと、テストのくり返し、その進度の速さは驚くべきもので隔世の感じがする。

このように学校では、かなり詰め込まれてくるので、家では割合自由に宿題以外は余り強制させなかった。しかし二年生になり、更に高学年に



が ん ば

(5)

なるにつれて、否応なしに余程勉強させないと、文部省から出されているカリキュラムに追いついていけないのだからかと思案している。

幸い、病氣もせず、初めての遠足、運動会、給食等の楽しかった学校行事も経験し、新しい友達も出来、その交遊の中から、少しづつ社会性を会得して、御蔭様で、一年を無事に終了しようとしています。

吉永節子

昨年の四月希望と不安を抱きながら一人娘を入学させたが、親子そろって全くの新生、子供より私の方がハラハラの連続で、ふと気がついてみるともう一年たっていました。三月生れの娘は、やっと六才になったばかりの一年生で、それはそれはどこから見ても幼いものでした。果してこの子は学校にはいって皆さんについて行けるだろうか、小さな体に大きなランドセル、後の方に引っ張られるようにしてしょってているのを見ると何だか可哀想な気さえしたも

のです。

初めて給食のあった日、帰って来るなり「お母さん、学校の給食の先生はお母さんより料理は上手かよ、おいしかった」と言っただけでも喜んでいました。何だか給食にひかされて学校に行っているようでした。入学当時はひらがなのひろい読みと、やっと自分の名前程度しか書けなかったのが、今は片仮名、それに少しの漢字も読み書きが出来るようになり、それはよそ様の子供さんに比べれば大分劣ってはいませんが、どうにかついて行っているのではないかと親の欲目で見ております。

それに今度(二月)の音楽会ではどのクラスも全体がまとまって何と素晴らしいか、た、一年間学校で学んでこんなにも成長したのかと感激でいっぱいでした。案ずるより産むが易し、だどつくづくこの一年間を振り返りかえっております。

母の手を 離れて
通いし学舎に
ひととせめぐりて
春もすぐそこ

思い出

新山町 出田綾子

今日から我が子が一年生自分が三小の門をくぐったのを

つい昨日の様に思えるもうこれだけの歳月が

たったのかと

今改めて思い感じる

校舎も運動場も変りなくなつかしさを思う

今度は子供と一語に

又勉強を始めよう

過ぎた日の思い出を

かみしめながら

よろこびて

母子手を取り

門くぐる

二人の肩に

桜散り落つ

初孫の 入学姿

一目だけ

見せてやりたや

今亡き父に



春

豊南町 吉田英子

シビエト ポバエト

あれは春のくずれる音

シビエト ポバエト

それは籠に

しじみをどっさり つめこ

む音

シビエト ポバエト

あれは夜の階段をのぼる

スフィンクスの足音

それは夏の群勢の

鎌のひしめき

未知の『思い出の記』を

ひそやかにめくる音

※ ※

春は

萌えいずるものたちの

萌えいずる心を束ねて

忘れられた

四輪馬車にのせ

カララ カララと

すぎてゆきます

そぼふる雨の中を

さしのべられた

夏の手の

透明さに

魅せられて

春は

すぎてゆくのです

校内音楽会

本年度に実施されました校内音楽会のプログラムを、広報を通じて皆様方にお知らせいたします。

一年

二月十三日(午後一時半)

(1) はじめのこぼ(三)くみ

(2) 一年全 ハーモニカ奏

(3) 一の一

(4) 合奏 手をたたきましよう

(5) 一の二

(6) 合奏 おうま

(7) 一の一

(8) 合奏 きらきらぼし

(9) うた うれしいひなまつり

(10) 一の四

(11) 合奏 たきび

(12) うた うら

(13) (7) ピアノ独奏

(14) (8) 一年全 合唱

(15) (9) おわりのことば 四くみ

二年

(16) 二月十四日(午後一時半)

(17) (1) はじめのこぼ

(18) 一組

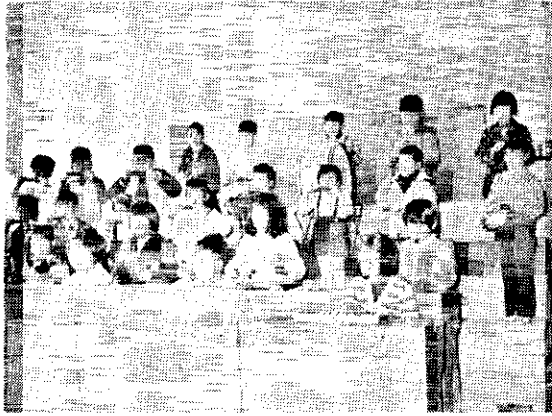
(19) きくの花・とけいのうた

- (3) 二組 シャボン玉・春がきた
 - (4) 三組 かっこう・パスパス走る
 - (5) 四組 そうだん・ゆき
 - (6) 五組 うたの町・てまりうた
 - (7) 全員斉唱 はごろも
 - (8) おわりのことば
- 三年**
- 二月十五日(午後一時半)
 - (1) はじめのことば
 - (2) 全員斉唱 しあわせなら手をたたこう
 - (3) 五組 春のまきば・子ぎつね
 - (4) 三組 みにくいあひるの子
ゆかいな木きん
 - (5) 一組 ひらいたひらいた・みなと
 - (6) 四組 手まり歌・ふじ山
 - (7) 二組 村まつり・しりととり歌
 - (8) 全員斉唱 手のひらを太陽に
 - (9) おわりのことば
- 四年**
- 二月十五日(午前中)
 - 一組 合奏 みんなの行進
合唱 とんび
 - 二組 合奏 くつやと小人
合唱 村のかじや
 - 三組 合奏 村のかじや
合唱 かねがなる
 - 四組 合奏 あひると白ぶた
合唱 もみじ

五・六年

- 二月十八日(午後一時半)
- (1) はじめの歌
手のひらを太陽に
- (2) 五年三組 演奏 遠い国のおとぎ話
歌 海
- (3) 五年二組 演奏 ばらのワルツ
歌 燈台守り
- (4) 五年一組 演奏 主人は冷たい土の中に
歌 星の世界
- (5) 五年五組 演奏 キャンプの夜
歌 通りゃんせ
- (6) 五年四組

〔 校内音楽会風景 〕



- 演奏 雪のおどり
歌 キャンプの夜
- (7) おかあさんと歌おう
二部合唱 ふるさと
- (8) 六年四組 演奏 お祭りポルカ
歌 小さい秋見つけた
- (9) 六年三組 演奏 故郷の人々
歌 駅馬車
- (10) 六年一組 演奏 駅馬車
歌 山寺の和尚さん
- (11) 六年二組 演奏 緑の Rond
歌 口笛吹いて
- (12) おわりの歌
星かげさやかに

学級担任の

ぼやき

生活部 木下利之

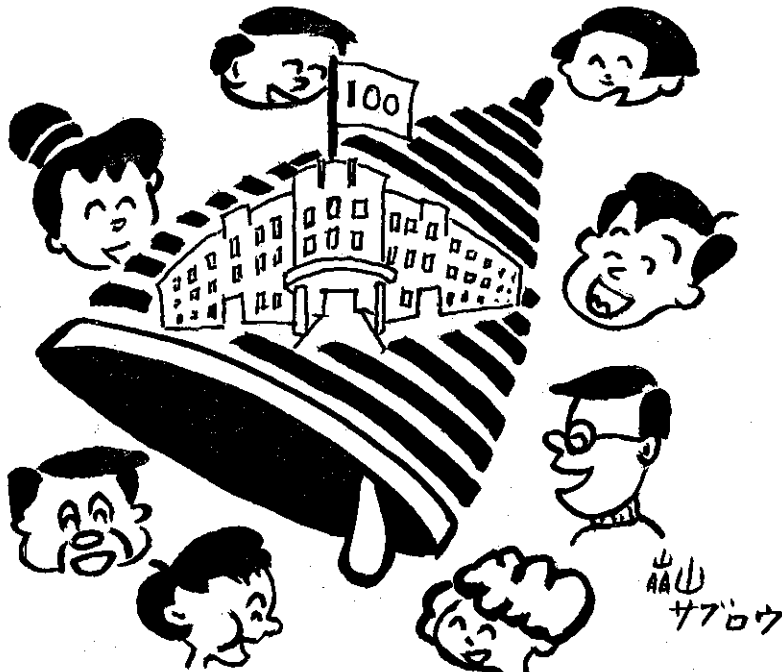
三角定規二十五組、分度器十七個、コンパス十二個、直定規二十八本、えんぴつが色とりどりに八十七本、消しゴム大小三十四個。これは、おどりの四月からきょうまでの教室内の落とし物である。もちろん、そのつど持ち主を確かめて引き取られた残りである。教室の外での数を考えれば膨大な量となる。引き取り手のない品々は、共通して名前が記されていない。子どもたちのえんぴつケースをのぞくと種々様々である。歯のあとで、でこぼこになった短いえんぴつ一本に、むしろ取られ、はじめなかつこうになったビー玉大の消しゴム一個のあわれなもの、怪獣型のカラフルな消しゴムに、大きなケースの下の段には、削ってないえんぴつがぎょしり、上の段には、ぴかぴかのシャープペンシルに定規セットのそろった華やかなものといっただ具合。時には百円玉も二、三個同居していることもある。需要と供給、消費と生産の不可解なバランスの崩れを見せつけられた思いで、

「物は大事にしるよ」
「無駄使いするなよ」
と叱りとばす前に、ひとり考えこまずにはおれなかった。子どもたちは、物を使うというのをどのように考えているのだろうか、節約ということばは、今の子どもたちの間では死んでしまった言葉なのだろうか。子どもたちは「物不足」「買い占め」という言葉を口にする。「ノートはよく考えて無駄なく使えんぞね」と言うとき、「先生、うちはね、お母さんが高くなる前にたくさん買い占められたけんよかと。」とうそぶく子に啞然とする。

道徳の学習が、記名の必要を説く言葉が何か白々しくなってしまう。「先生が小学校の頃はね……。」と話しかけると、「うん、うちんお父さんもそが言いやらした。」と、その子もまたちをこのままでは……。考えるほどに頭が痛んでくる。

「みなさん、あなた方はどうお考えなのですか？」と問いかげずにはおれない、きょうこのごろである。

あなたの家に
ベルマークが眠っていませんか？



三小創立100周年にベルを鳴らそう!!

「父兄のみなさんへ」
学校よりのお願い!!

昔にくらべ、子どもたちの遊び場がなくなり、学校の運動場は、子どもたちにとって思いきり手足をのびし、とびまわれる唯一の場所となりました。

学校としまして、放課後や日曜日、祝日など十分運動場を活用できるようにしておりますが、大人の方が使われる場合は、事前に申し出いただき許可制にしているところがあります。

ところが、最近どこからともなく、犬が校地内には入りこみ、運動場や校舎内をうろつきまわって困ることが、たびたびあります。見たところ「野良犬」でなくて、「飼い犬」で、自分でつないでいるのを、ふりほどいたのか、運動のため飼い主がはなされたのだろうと思われまます。

今までのところ、事故があらっていませんが、万一のこともありますので、犬を飼っていられる方々は十分ご注意下さるようお願い申し上げます。

育友会巡回文庫
を終えて

教養部長 伊藤八郎

本年度も前期と後期に分けて二回巡回いたしました。が、保管場所に当たられた責任者には、細かな配慮と搬送等にお骨折りを頂き有難うございました。

会員の皆様の向上のためいくらかでもご奉仕できたことを深く感謝いたして居ります。

◎ 献本のお知らせ !!

この前も山本会長さんよりたびたび沢山の献本を頂きましたが、この度は、南風泊町の久保享氏より育友会文庫にご寄贈を頂きました。

「言葉と育ち」

「しつけの心」

「いま学校で」

「ちゃんばら人間論」

「おたまじゃくし無用論」
など十余冊、大切に読ませたいいただきます。

ほんとうに有難うございました。

歯の健康に

ついて

保健部

学校保健統計によると、戦後、文明の進歩に従い急増している疾病は、学童のむし歯と近視です。

歯の健康管理として本校では春の定期健康診断に加え、特別に、学校歯科医本田先生にご足労願って、二学期にも再度全校児童の検診を実施しました。早期発見、早期治療のおかげで、むし歯も軽症のうちにくいとめられその恩恵は多大なものです。

検査直後配布するお知らせカード(要治療歯部位を图解)をすぐ学校へ返す治療成績優秀児が大半ですが、いまだに処置が完了していない者もいます。(別表参照)

- ◎ こわい・痛そうだという
- ◎ 歯科医恐怖症
- ◎ いそがしい・病院でまっのがいやという時間的困難児
- ◎ なんとなく通院したくないなまけ者
- ◎ 自然治癒や何回も生えか

わることを期待している無知な者

など、学校で聴取した理由はさまざまです。個々の事情に応じて指導はしていますが、まだ治療にとりかかっておられないお子さんには、春休み中に完了されるよう、ご家庭でもよろしくお願いいたします。

腹痛や頭痛のように一晩ゆっくり休めば治るだろうなんて自然治癒を期待することは永久歯に限り絶対不可能なことです。むし歯放っていたら悪化するばかりでなく治療が長びき、要する時間とお金もたくさんかかることになりま

- 食物をかみくだき消化をたすける大切な歯
 - 発声発音に役立つ歯列
 - 美容の要素になる健康な歯
 - 歯は一生使わなければなりません。
- 食後の歯みがきを励行し、むし歯予防につとめ、健康な歯で新学期を迎えましょう。

昭和48年度

学級別むし歯管理状況表

(49.2.現在)

(※永久歯むし歯と乳歯の技工のみ)

学年	組	要治療者	1年間の治療状況 2月現在						治療率 (%)
			5	10	15	20	25	30(人)	
1	1	15	[全員完了]						93.3
	2	17	[全員完了]						100.0
	3	10	[全員完了]						90.0
	4	12	[全員完了]						75.0
2	1	16	[全員完了]						75.0
	2	10	[全員完了]						70.0
	3	14	[全員完了]						64.2
	4	21	[全員完了]						85.7
	5	19	[全員完了]						78.9
3	1	23	[全員完了]						91.3
	2	14	[全員完了]						85.7
	3	20	[全員完了]						85.0
	4	24	[全員完了]						91.7
	5	20	[全員完了]						95.0
4	1	32	[全員完了]						75.0
	2	31	[全員完了]						83.9
	3	25	[全員完了]						68.0
	4	28	[全員完了]						89.3
5	1	20	[全員完了]						90.0
	2	21	[全員完了]						95.2
	3	17	[全員完了]						88.2
	4	28	[全員完了]						89.0
	5	22	[全員完了]						90.9
6	1	25	[全員完了]						84.0
	2	22	[全員完了]						54.5
	3	24	[全員完了]						79.2
	4	25	[全員完了]						64.0
アイゴ		8	[全員完了]						50.0
全校		563	処置完了者 463人 未処置 100 (現在治療中も含む)						全国平均 82.2%

お子さんの幸せのためご家庭での管理をよろしくおねがい申し上げます。

編集後記



歴代の広報部および会員皆様方のご協力によって「がんばり」

「がんばり」も、この号で40号となりました。親しみのある会報として、ますます充実する「がんばり」になるよう、今後ともご協力下さるようお願いいたします。